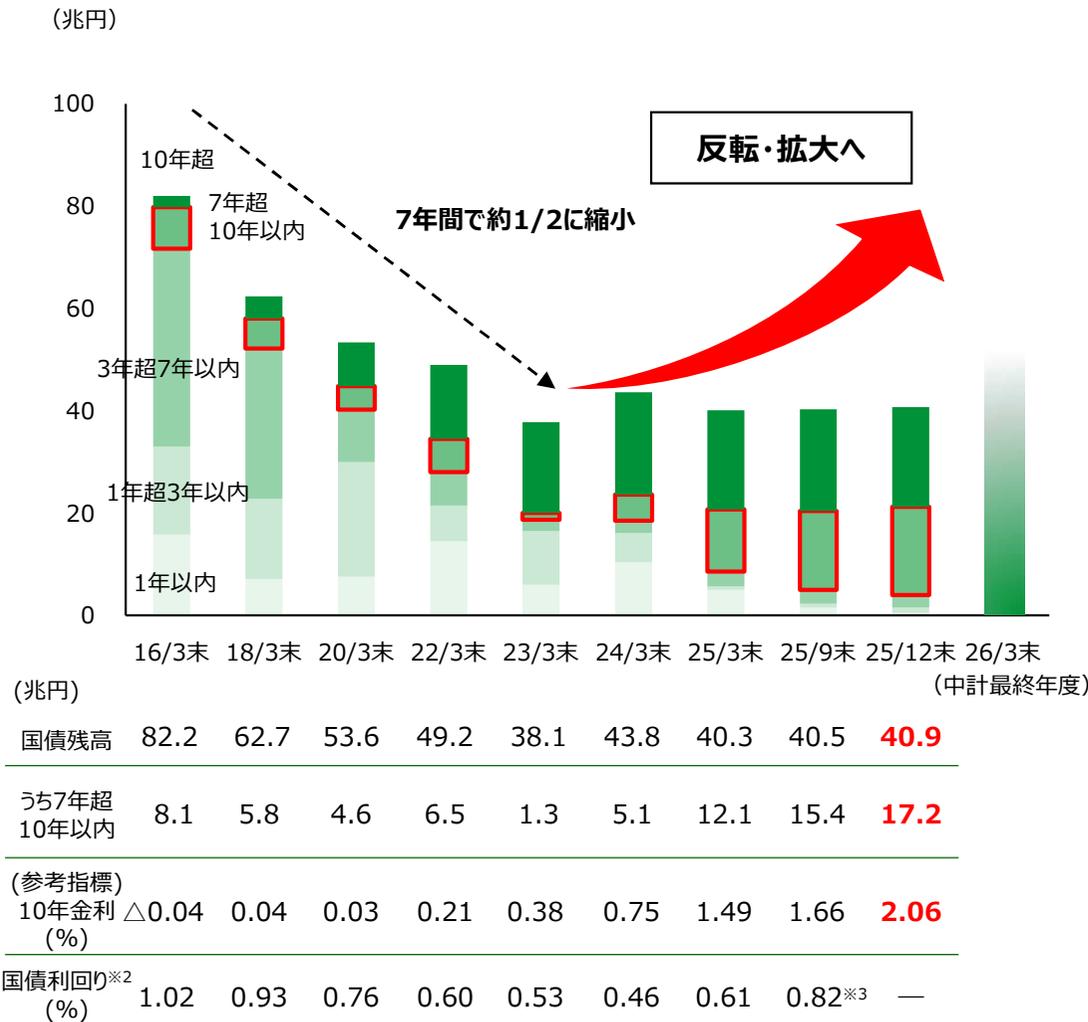


エグゼクティブ・サマリー：③円金利ポートフォリオの再構築

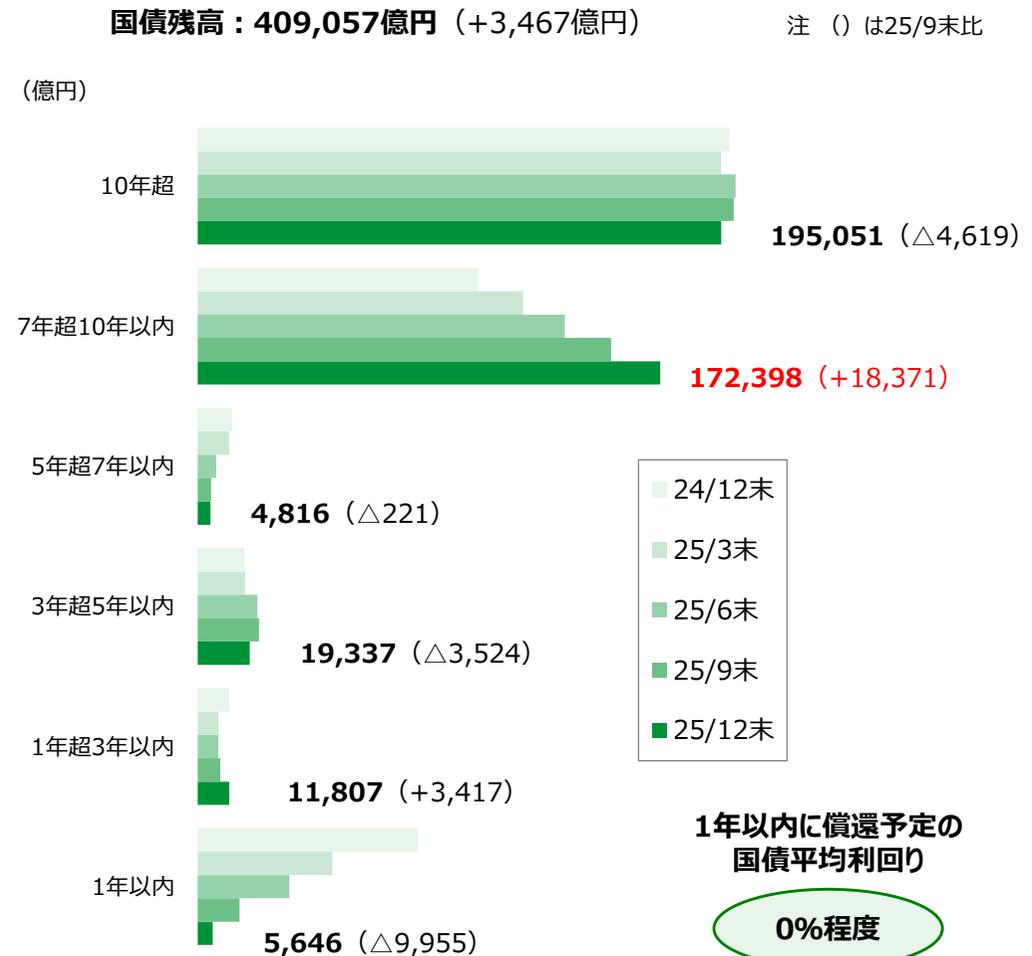
円金利上昇トレンドを捉え、国債への継続的な投資を実施、利回りは大きく改善

国債保有残高※1



※1 金銭の信託で保有する国債は含まない
 ※2 国債利息 / [(前期末国債残高 + 期末国債残高) / 2] × 100で簡易的に試算したもの
 ※3 中間期の実績を年率換算したもの

残存期間別の国債残高※1 (25年12月末)



〈保有目的別残高〉
 満期保有目的：298,474億円 (+16,115億円)
 その他保有目的：110,583億円 (△12,647億円)

マーケットビジネス：⑤ALMの方向性

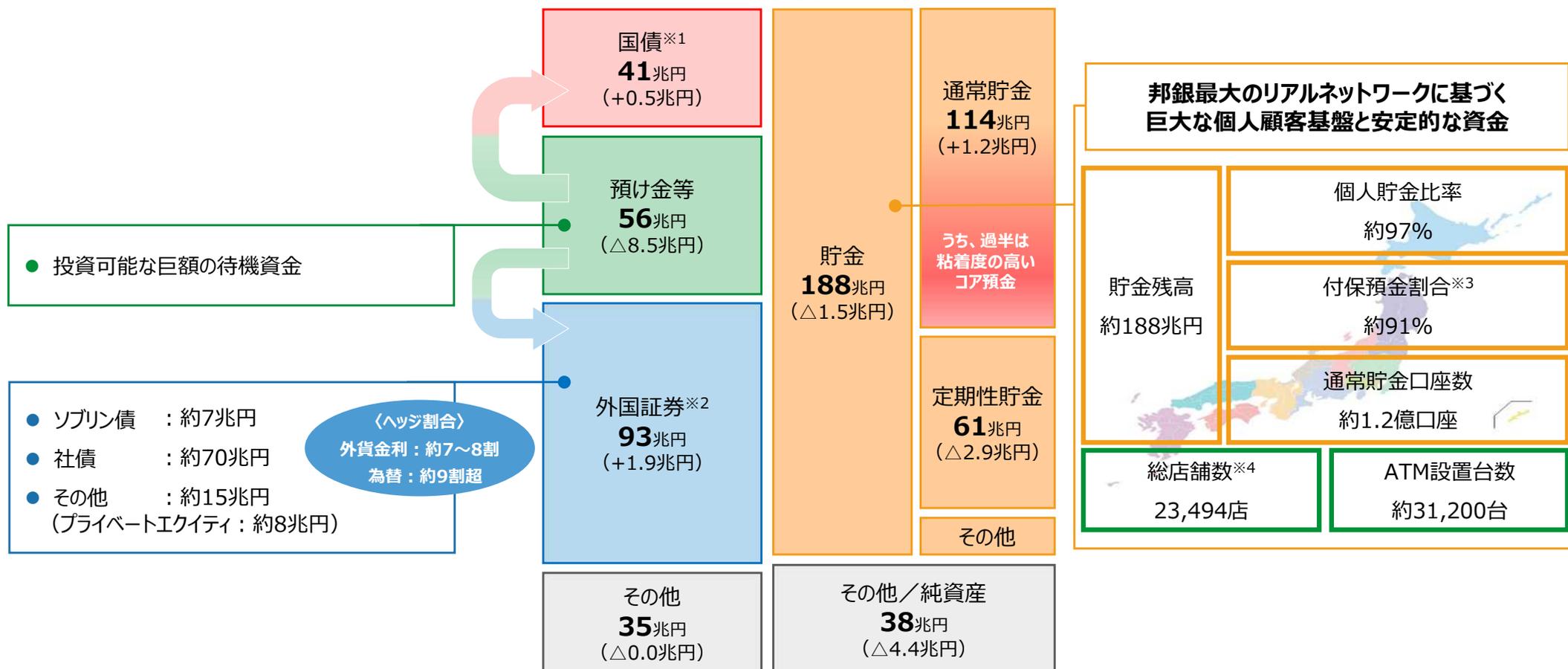
安定的な貯金基盤の下、リスク耐性の高い運用ポートフォリオを追求

小口の個人貯金を中心とする安定的な資金調達基盤・貯金残高を維持・継続

リスク管理を深化しつつ、円金利資産（日本国債、預け金等）とリスク性資産（外国証券等）を組み合わせた最適な運用ポートフォリオを追求

〈当行B/S（単体）〉 総資産 **227兆円**（△6.0兆円）

注 25/12末時点、（）は25/3末比



※1 金銭の信託で保有する国債を含む

※2 金銭の信託で保有する不動産ファンド、ダイレクトレンディングファンド、インフラデットファンドを含む

※3 預金保険法に定められた預金保険制度対象預金等相当額（概数）が貯金残高に占める割合

※4 25/3末時点、郵便局数を含む

金利等の状況

足許の市場環境は安定的に推移。国内金利については想定を上回る水準が継続

内外金利／ドル調達コスト



米国IG・HY社債スプレッド／ドル円

